

私立大学図書館協会東地区部会研究部  
2017年度第1回運営委員会議事録

日 時：2017年4月14日（金） 14：30～17：00

会 場：成城大学 図書館4階会議室

出席者：平井久美子（東海大学）、山田和宏（創価大学）、花上真一（聖心女子大学）、  
浅尾千夏子（慶應義塾大学）、鈴木努（早稲田大学）、青木みちる（学習院大学）、  
武林輝暁（玉川大学）、佐々木俊介（桜美林大学）  
【事務局】新井和之、吉田博貴（成城大学）

議事概要：

1. 2016年度研究部決算報告について

資料1に基づき報告があった。既に監事校による監査を受けており、前期研究部担当理事校からも内容については概ね例年通りで特に問題はなかったとの説明があり、了承された。

2. 2017年度研究部予算（案）について

資料2に基づき報告があった。2016年度第8回運営委員会で提示された予算案に対し、2017年度の事業内容に即し収入、支出ともに若干の修正を行った。中でもオンデマンド研修については30名コース2回分を計上したこと、また、分科会の特別助成金については例年の実績に即した金額を計上したことなどの説明があり、意見交換の結果、了承された。

3. 2017年度研究部活動計画（案）について

資料3に基づき報告があった。基本的には例年通りの計画であるとの説明があり、了承された。

4. 2017年度研修分科会特別助成金申請について

資料4に基づき報告があった。2017年度についても例年通り大学図書館支援機構（IAAL）に業務委託を行い年6回開催の予定であることから、実施に当たっては前年度と同様の予算措置が必要であるとの説明があり、了承された。

5. 2016年度研究分科会活動報告、並びに2016年度研究分科会会計報告について

資料5に基づき報告があった。詳細な確認作業は前期研究部担当理事校にて既に行われていることから、委員会でも特に問題点などの指摘はなく、了承された。

6. 2016年度研究分科会刊行物一覧について

資料6に基づき報告があった。近年、冊子体を刊行する分科会が減少していることから、活動内容を明らかにできるような現状に即した資料の検討が必要ではないかなどの意見交換が行われた。

7. 2017年度第1回運営委員・研究分科会代表者合同会議について

資料7に基づき報告があった。今年度は懸案となっている分科会ホームページの問題を解決させるため、代表者会議の際にもある程度の時間を割り、意見交換を行う予定であるとの説明があった。

8. 2017年度東地区部会「研究講演会」について

資料8に基づき報告があった。既に講演者と演題は確定しているが、全体のテーマについて意見交換を行い、修正案を再度メールで提案することが確認された。

9. 私立大学図書館協会東地区部会研究部細則の一部改正について

資料9に基づき報告があった。前期の運営委員会で既に内容の確認が行われているが、2017年度の部会総会にて承認後に改正となることから、再度、情報提供が行われた。

10. オンデマンド研修について

資料10に基づき報告があった。2017年度の「図書コース」実施に向けた流れや募集方法について、また、「雑誌コース」の製作についてそれぞれ説明があり、今後のスケジュールと方向性の確認が行われた。

11. 2017年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて

資料11に基づき報告があった。運営委員会や研修分科会、また、研究分科会報告大会などの会場については運営委員の所属校に対して提供依頼がなされた。

12. 研究分科会マニュアル2017年度版について

資料12に基づき報告があった。今後にも必要に応じて修正を行うが、協会ホームページに掲載されているマニュアルについては既に更新済みであることが併せて報告された。

13. その他

2017年度運営委員会名簿と2017年度研修委員会名簿（案）について、資料13に基づき報告があった。

また、私立大学図書館協会東地区部会研究部研修委員会規則について、資料14に基づき報告があった。こちらは2016年12月9日開催の2016年度第7回運営委員会にて既に承認された案件であるが、再度、情報提供が行われた。

最後に、本日の資料等で、字句や文言等の修正が必要な個所については、研究部担当理事校で修正の後、再度メールで発信することを確認し、閉会した。

以上